

# 平成27年度 学生による授業評価およびカリキュラム・施設・設備アンケート実施結果報告書 (材料科学総合学科)

## 1. 授業評価について

### ① 代表的な記述内容

例年のように、多くの専門科目で工学部平均の評価を上回る良好な結果となっており、学生の満足度の高さがうかがえる。

各科目の内容に関しては、「興味を持てたところ」と「興味を持てなかったところ」及び「わかりやすかったところ」と「わかりにくかったところ」のそれぞれの記述が重複しており、同じ内容でも学生の得手不得手でコメントの差が大きいようである。「数学物理学演習」については、「課題がヘビー、詰め込みすぎ」という指摘も多い。

授業の方法に関しては「わかりやすかったところ」「わかりにくかったところ」「授業内容・方法」では、「教科書・プリントの内容」、「板書」「視聴覚機器」「試験日程」に関するものが目立つ。「教科書・プリントの内容」では、好意的なものでは「わかりやすい」というものも多いが、不満としては「誤植」「字や図面が小さい」「読みにくい」などの指摘が多い。特に「数学物理学演習」のテキストについては、以前から指摘されている誤植の多さが、今回も多く指摘されている。「板書」に関しても、好意的なものとしては「整理されていてわかりやすい」というものも多いが、不満としては「板書がわかりにくい」「字が汚い」「字が小さい」「添え字が小さい」などの記述が多い。「視聴覚機器」に関するものについても、「板書」と同様な記述のほかに、「声が小さい」「パワーポイントの説明では講義の速度が速い」という記述も散見される。「試験日程」については、「テストの日程が密集していて、テスト直前の勉強が十分にできない」という記述が散見された。

### ② 分析結果と③改善策 (②と③は連動するのであわせて記載)

・講義の個々の内容については、学生の得手不得手、興味があるなしで同じ内容でも、理解度が大きく異なる。学生の受講意欲を高める工夫として、理解度を高めるためにレポートや演習を課すことが有効と考えられるが、つまづいている学生に対しては、レポートや演習の解答を示すなどをするとより有効と考えられる。

・例年、「数学物理学演習」については、「課題がヘビー、詰め込みすぎ」という指摘があるが、これは開講年次が1年生であるためと考えられる。系学部教務委員に属する学生委員の意見では、確かに1年生の時は、高校の授業とのギャップで「課題がヘビー、詰め込みすぎ」と感じるが、3、4年生になれば、それぐらいを平気でこなせないと、学生実験や卒業実験などついていけなくなるとの指摘だった。「高校」から「大学」における学びの転換が必要で、ガイダンスなどでより説明をする必要があると感じる。また、教科書の誤植の多さについては、修正してもらうよう要請を継続する。

・板書方法、パワーポイントを使った際の講義の速度など、講義の技術的な点については、教員に継続的に工夫することを促す。

・試験の日程については、学事日程表と見合わせながら、可能な限り1日の試験数を減らすように工夫をする必要がある。

## 2. カリキュラム・施設・設備について

### 1) 全学教育科目について

「幅広い講義が学べてよい」という好意的な記述も多く見られる反面、英語の授業に関して不満が多く見られた。学生の要望としては話すなどの実用的な英語を望んでいるようである。また、同じ名前の講義でも「教員により難易度と評価にばらつきがある」という不満も多く見られた。これらについては、改善してもらうように継続して全学教育の方に要請する。

### 2) 専門教育科目について

「やりがいがある」という記述も見られるが、「難しい」という記述も多数見られる。

4セメまでの講義数と比べて、5,6セメの講義、実験数が増えるため、3,4セメに専門の講義を入れて欲しいという記述も多い。しかし、3,4セメに置いて専門科目で使える時間に制限があり、また、基礎導入科目を十分に行わずに専門性の高い講義をしても理解が不十分になる恐れがあるため、効率的な時間割運用について、今後とも検討していく必要がある。4セメ金曜日に川内キャンパスと青葉山キャンパスを往復しなければならぬ学生もあり、これについても講義室の部屋割りと時間割の運用で検討する必要がある。

「試験の日程が厳しい」という意見が多数見られる。学生の意見を詳細に聞いて、試験日程について検討する必要がある。

### 3) 所属コースの決定方法、進級・卒業要件の設定について

研究室配属方法について改善を求める意見があるが、相反する意見が多い。配属方法をもっと早い時期に知らせる一方、研究室配属方法に関する趣旨を学生に周知する他、学生の意見を聞きながら、少しずつ改善することが必要である。

### 4) セメスターごとの授業バランスについて

5,6セメが、1~4セメに比較して、講義が多いことから、専門科目を早くから導入して欲しいという意見がある。1~4セメは全学教育で専門教育に使える時間が少ないこと、また、基礎知識不足のまま専門教育を行うのは困難なこと、1週間に11~12科目程度であり、他学科と比べても特に多いとは感じられない。

- 5) カリキュラムに関して  
試験日程に関する不満が多い。
- 6) 修学環境・設備について
- ・講義室  
机の間隔が狭い (多数)  
寒い (多数)
  - ・実習室、実験室、機器類に関して  
寒い (多数)
- 7) 図書館工学分館について  
利用時間を増やして欲しい  
空調の延長  
トイレが汚い
- 8) 学習環境 (厚生施設等) について  
自習室を増やして欲しい  
キャンパスバスを増やして欲しい
- 9) 施設・設備について  
スポーツのできる場所が欲しい  
学食が混んでいる  
自動ドアの反応が悪い